

東京都公民館連絡協議会職員部会 第10回（報告）

- 1 日時 平成30年2月21日 午後2時～
- 2 場所 小金井市公民館本館
- 3 出席 小金井市（筈本）、小平市（小山、武井）、東大和市（富田）、昭島市（遠藤）、
狛江市（横山）、国分寺市（南波）、国立市（遠藤）、伊東顧問
- 4 内容
(1) 事務局より（職員部会ニュースコラム担当順）
2・3月号 狛江市、小金井市（3月18日締め切り）

(2) 協議事項に関して

- ・都公連研究大会課題別集会の振り返り各メンバーより感想を述べてもらった。

<小金井市 筈本>

充実した内容だったと思う。事例に対する意見をたくさん聞いた。

大会前の職員部会に金田先生をお招きできたことがよかった。

当日までの進行がもっとスムーズにできればよかった。

グループワークの班分けが良かったと思う。

<小平市 武井>

公運審、市民の意見が聞けてよかった。職員からはなかなか出ない意見が多く聞いた。

職員の能力について等、率直な意見交換があった。

金田先生の解説もよかった。来年度に生かしたい。

<小平市 小山>

職員部会研修と同じ先生を助言者として招くことができて良かった。

来年度に向けて先生の選定をしっかり進める。

グループワークでは各市の状況がわかって良かった。

<狛江市 横山>

特に大きな問題もなく、スムーズに運営されたと思う。

事例がわかりやすく、先生の講評は聴いている側も勉強になる内容だった。

グループワークとの連続性は疑問に感じた。グループワークに対する講評を先生にお願いしたかった。

<昭島市 遠藤>

第三課題別集会に参加していた昭島市の職員からは、とてもスムーズに運営されていたという感想を聞いた。助言者とのコミュニケーションがよく取れていたと思う。職員部会は緻密に企画運営が出来ていたのではと思う。

<国立市 遠藤>

第三課題別集会に参加していた国立市の職員からは、グループワークがとても良かったという感想を聞いた。

月1回開催の部会で、よく出来たと思った。

筈本さん1人に負担をかけてしまっていた。うまく分担できればよかった。

<国分寺市 南波>

全体的によかった。まとまっていた。グループワークの進め方が難しかった。

<東大和市 富田>

スムーズに運営が進んで良かった。

筈本さんに負担をかけてしまった。もっといろいろ手伝えればよかった。

ファシリテーターの役割がほとんど出来ず、グループに迷惑をかけてしまった。

<伊東顧問>

全体的にスムーズな運営が出来ていたと思う。

意見が多く出たが、焦点が絞りきれいでなかった。どう焦点を絞ってグループワークをするかが今後の課題。

金田先生の話は大変良かったが、講評が長すぎたと思う。(タイムテーブルの作り方の問題か)

・記録集(担当:南波、今村、佐藤) 今後のスケジュール

- ①3月7日(水) 原稿提出〆切
- ②3月7日~下旬 校正
- ③3月末 完成(狛江市ホームページにアップ予定)

○平成30年度職員部会について

平成30年4月より新体制での職員部会がスタートする。そのため、次年度の方向性のある程度示しておくこととスタートがしやすい。そこで、次回の職員部会で次年度取り上げたいテーマなどを持ちよることとなった。

(伊藤顧問より)

・30年度、都公連研修部会で新任研修を実施予定(春・秋)

- ①春:公民館新任職員向けの研修
- ②秋:ステップアップ研修(職員、公運審、市民向け)
- ③都公連役員部会内に研究チームを作る予定
⇒講師の選定の相談に乗れるようなシステムをつくる予定

5 各市からの報告事項

- ・伊東顧問より、チラシ配布。

6 次回開催について

3月20日(火) 午後3時 会場:小金井市公民館貫井北分館